

【基本集計 平成22年10～12月期平均 再集計結果】

結果の概要

[全国]

- ・ 就業者数は6257万人と、前年同期に比べ6万人の増加
- ・ 完全失業者数は317万人と、前年同期に比べ14万人の減少
- ・ 完全失業率（原数値）は4.8%と、前年同期に比べ0.2ポイントの低下

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、東海及び九州・沖縄は増加、中国は同数、北海道、北関東・甲信、北陸、近畿及び四国は減少
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、東北、南関東、北関東・甲信、東海、近畿及び中国は減少、北陸及び四国は同数、北海道及び九州・沖縄は増加

- ・ 完全失業率及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道……………5.1% (0.4ポイント上昇)	東海……………3.7% (0.6ポイント低下)
東北……………5.5% (0.4ポイント低下)	近畿……………5.8% (0.1 “)
南関東……………4.6% (0.1 “)	中国……………3.9% (0.8 “)
北関東・甲信…4.6% (0.3 “)	四国……………4.5% (前年同期と同率)
北陸……………4.2% (前年同期と同率)	九州・沖縄……5.6% (0.2ポイント上昇)

図1 地域別完全失業率

